

# IMV CORPORATION

## 2007年9月期 中間決算説明資料

2007年5月30日



### 会社概要 (2007年9月中間期:連結)



社 名 : IMV株式会社 (英文社名:IMV CORPORATION)

証券コード : 7760 (ジャスダック証券取引所/精密機器)

設 立 : 1957年4月17日

事業概要 : 振動シミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売  
及びテスト&ソリューションサービスの提供

代表者 : 代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫

売上高 : 2,725百万円 (参考)2006年9月期:4,953百万円

経常利益 : 319百万円 (参考)2006年9月期:609百万円

資本金 : 464百万円 (参考)2006年9月期:464百万円

従業員数 : 199人 (55名の期中平均臨時従業員含む)  
(参考)2006年9月期:191人(48名の期中平均臨時従業員含む)

本社所在地 : 大阪市西淀川区竹島2-6-10

(本社/R&Dセンター/大阪工場/東京工場/東京各営業所/海外事業部  
/大阪営業所/名古屋営業所/東京テストラボ/大阪テストラボ)

## 沿革 ～会社更生法からの再建

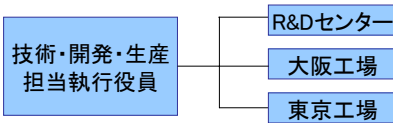


- 1957年 4月 株式会社国際機械振動研究所を設立
- 1974年 10月 会社更生法を大阪地裁へ申請  
小嶋成夫(現社長)が更生管財人として自力再建を開始
- 1985年 7月 残3回の弁済計画を繰り上げ、会社更生手続きを終結
- 1994年 9月 日東精機㈱(現連結子会社)を100%子会社化
- 1998年 4月 国内初のテストラボ専用施設を完成(東京工場敷地内)
- 2005年 5月 本社・大阪工場を大阪市西淀川区に移転・統合
- 2005年 6月 大阪テストラボ開設
- 2005年 7月 ジャスダック証券取引所に上場
- 2005年 10月 組織・機構改革を実施
- 2007年 2月 大阪にショールーム開設
- 2007年 4月 会社設立50周年
- 2007年 9月 名古屋テストラボ開設予定

## 組織体制の見直し(2007年4月1日)



### 技術・開発・生産担当執行役員設置



東京工場製品移管に伴い、振動シミュレーションシステム及びメジャリングシステムの技術・開発・生産を統括する執行役員を設置。全体最適化を推進。

### 営業部門の再編



営業本部直下にあった国内の各営業所を集約し、海外事業部、営業企画部と同列の営業部を新設。

### 営業支援強化



営業本部の配下にあった販売企画係を営業企画部に格上げし、営業支援・販売促進を強化。



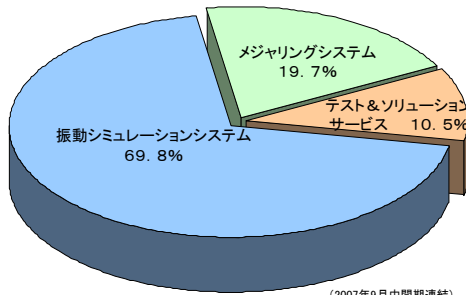
## 振動を再現する 振動シミュレーションシステム

振動環境を再現し、振動に対する耐振性及び改良の必要性等を評価、判定するための試験装置です。振動以外の環境因子との複合試験にも用途は拡大しています。動電式システムで国内シェアNo1に位置します。



## 振動を計測する メジャリングシステム

工業製品、設備機械、建築物などに発生している振動を監視し、データとして収録後、解析処理する装置です。設備の劣化診断、地震災害時の設備緊急制御等に用いられます。充実の製品ラインナップで顧客ニーズに応えています。



(2007年9月中間期連結)

## 振動問題を解決する テスト&ソリューションサービス

設備や試験ノウハウを持たない顧客からの要請を受け、振動試験の受託やコンサルティング等を実施しています。様々な顧客ニーズの取り込みを図っており、サイトの増設、サービスメニューの拡大に取り組んでいる成長分野です。



# 決算概要(概況)



- 全社売上は前年同期比116百万円の増収となりましたが、振動シミュレーションシステム及びメジャリングシステムの販売が計画を下回ったため、期首予想を295百万円下回る2,725百万円となりました。
- 売上が予想を下回った影響及び人材投資(前年同期比65百万円増加)・研究開発投資(前年同期比42百万円増加)等による戦略的費用負担の増加により、経常利益は前年同期比106百万円減益の319百万円、中間純利益は前年同期比2百万円増益の199百万円となりました。
- オールウェザー対応のチャンバー(恒温恒湿槽)の内製化を開始。併せて、このクラスでは世界初となる小型振動シミュレーターとの複合試験用チャンバー及びマイグレーションテスト用チャンバーを開発しました。
- 大阪テストラボが本格的に収益貢献。07年9月の名古屋テストラボの開設により、東名阪の3拠点体制を確立します。
- 東京工場にあったメジャリングシステムの研究開発機能及び製造機能を大阪に集約。今後の拡大路線のための布石を打ちました。
- 人員増強など積極的な事業展開により海外向けの引き合い増加。BRICsに代表される新興国からの引き合いが前年同期と比較して約10億円増加しています。

## 決算概要(連結数値)



(単位:百万円)

	07/9中間期実績	06/9中間期実績	増減額	増減率	07/9中間期期首予想	増減率
売上高	2,725	2,609	+116	+4.5%	3,021	△9.8%
経常利益 (経常利益率)	319 (11.7%)	426 (16.3%)	△106	△25.0%	430	△25.7%
中間純利益 (中間純利益率)	199 (7.3%)	196 (7.5%)	+2	+1.4%	256	△22.2%

	07/9中間期実績	06/9中間期実績	増減額	増減率	概要
設備投資額	391	169	+221	+130.8%	主に名古屋テストラボ向けの土地(196百万円)及び建設仮勘定(140百万円)です。
減価償却費	128	125	+3	+2.6%	主にソフトウェア製作償却費の増加(+4百万円)による影響です。
研究開発費	82	40	+42	+105.7%	主に小型振動シミュレーターの開発費用(28百万円)です。
従業員数※	199	180	+19	+10.6%	主にチャンパー事業部門人員の増加(+9名)です。

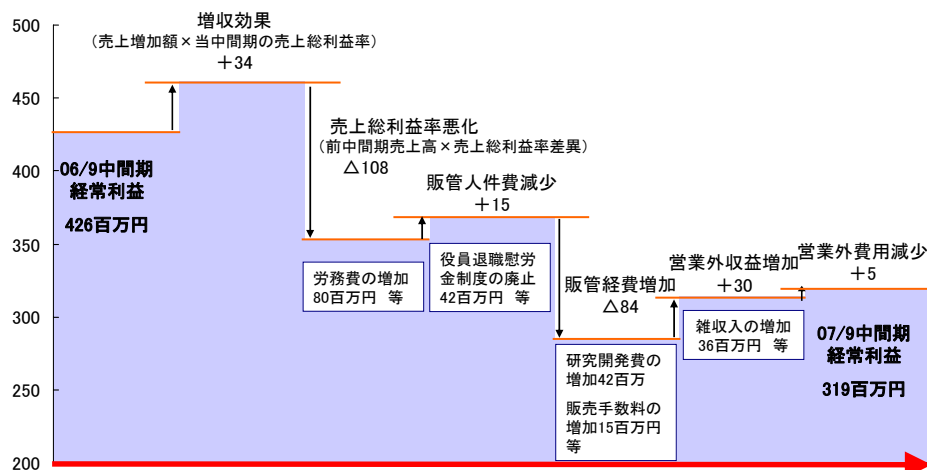
※従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上が予想を下回った影響及び人材投資(前年同期比65百万円増加)・研究開発投資(前年同期比42百万円増加)等による戦略的費用負担の増加により、経常利益は前年同期比106百万円減益の319百万円、中間純利益は前年同期比2百万円増益の199百万円となりました。

Copyright © IMV CORPORATION 2007 All right reserved

6

## 経常利益増減要因分析(連結)



07年9月中間期の連結経常利益は、増収効果、販管人件費の減少、営業外損益の増益がありました。チャンパー事業の人材増員などによる売上総利益率の悪化や新製品の研究開発費などによる販管経費の増加があり、前年同期比106百万円減収の319百万円となりました。

Copyright © IMV CORPORATION 2007 All right reserved

7

## 連結貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	07/9中間期末	06/9期末	増減額		07/9中間期末	06/9期末	増減額
流動資産	3,957	3,925	+32	流動負債	3,061	2,946	+114
現金預金	685	498	+187	仕入債務	1,203	1,224	△21
売上債権	2,494	2,481	+12	短期有利子負債	1,133	1,053	+79
棚卸資産	640	700	△60	その他流動負債	724	667	+57
その他流動資産	136	244	△107	固定負債	2,234	2,016	+217
固定資産	3,694	3,297	+397	長期有利子負債	1,868	1,602	+265
有形固定資産	2,990	2,696	+294	その他固定負債	365	413	△47
無形固定資産	97	67	+30	負債合計	5,295	4,962	+332
投資その他資産	606	533	+72	純資産合計	2,357	2,260	+96
資産合計	7,652	7,223	+429	負債・純資産合計	7,652	7,223	+429

資産の部 名古屋テストラボ建設に伴い、土地(196百万円)及び建設仮勘定(140百万円)が増加したことにより、固定資産が397百万円増加しました。尚、その他流動資産の減少は主に未収入金の減少(65百万円)によるものです。

負債の部 :名古屋テストラボ建設に伴う長期借入れ及び償還期間が1年以内の社債を流動負債に振り替えたことにより、流動負債114百万円・固定負債217百万円が増加しました。

純資産の部:未処分利益の増加により利益剰余金が132百万円増加しました。

## 50周年の取り組み進捗報告(1)



### 事業投資の積極化

	上期の取組み	今後の予定
名古屋テストラボの開設	愛知県西加茂郡三好町に建設決定。現在建設工事中	9月20日竣工予定
新技術開発プロジェクトの事業化	・オールウェザーシステム用チャンバー製造・納入 ・小型試験機、マイグレーションテスト用チャンバー開発	単体製品の外部販売を推進
生産改革の断行	あらゆる生産改革を断行。協力会社を集めてのパートナー会議実施	生産部門改革から全社改革へ水平展開する新プロジェクトを発足



名古屋テストラボ完成予定図(外観)



名古屋テストラボ完成予定図(内観)



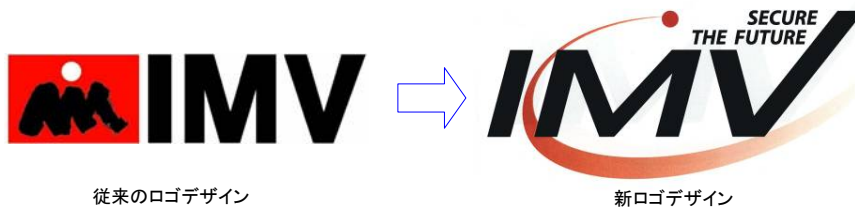
IMV製チャンバーとの複合試験装置

## 50周年の取り組み進捗報告(2)



### コーポレートブランドの再構築

	上期の取り組み	今後の予定
コーポレートロゴの刷新	ロゴ変更(06年11月)	新たなブランドイメージの浸透に向けて水平展開
コンセプトブックの製作	事業内容の一般投資家への周知を目的に株主通信を発行(06年12月)	継続実施
Webサイトの再構築	・会員向けサイトの構築 ・CSR関連ページの追加	トップページデザイン変更。 会員サイトコンテンツの充実
株主還元(記念配当)	—	50周年記念配当1円の予定



従来のロゴデザイン

新ロゴデザイン

## 50周年の取り組み進捗報告(3)

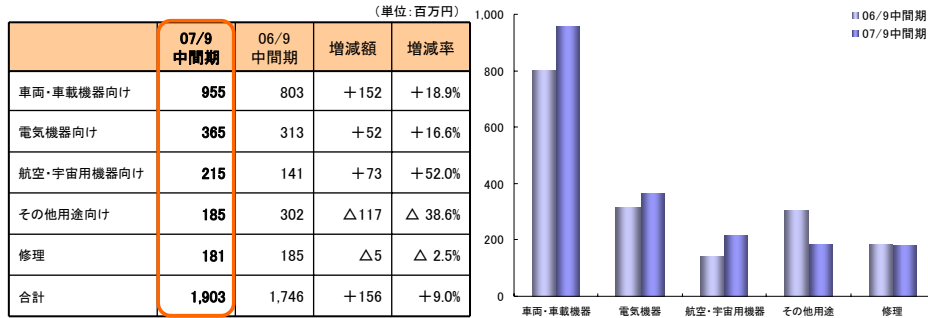


### 販売促進戦略の見直し

	上期の取り組み	今後の予定
代理店政策の活性化	・代理店会議実施(代表者向け1回、実務者向け4回) ・会員用webサイトの構築 ・代理店成果報奨制度創設	継続実施
ショールームの開設	07年2月開設。振動シミュレーションシステム・メジャリングシステムの実機を展示	展示品の充実
IMVプロダクツマイスター制度	代理店販売員の教育・認定プログラム。試験機部門・計測器部門各2回実施。約100名参加	継続実施
50周年記念キャンペーン	テストラボ「DSS試験でDSゲットキャンペーン」実施(06年10月~07年2月)	次期キャンペーン準備中



## 振動シミュレーションシステム ～中間期の概況～



- 既存設備の更新需要が活発であり、前年同期比156百万円増収の1,903百万円となりました。
- 振動以外の環境因子と同時に試験を行うことができるオールウェザーシミュレーションシステムが、自動車関連産業や航空宇宙関連産業中心に堅調に推移しました。また、オールウェザー対応のチャンバー(恒温恒湿槽)の内製化を開始しました。
- 小型で低騒音な振動シミュレーター「mシリーズ」を07年3月に発売いたしました。また、オプションとして、このクラスでは世界初となる複合試験用チャンバーを開発いたしました。
- 新規導入案件や増設案件につきましては、前期にも見られた顧客の設置場所不足が慢性化する傾向にあり、発注の段階で時間を要する案件が増加しております。



小型振動シミュレーター「mシリーズ」

## 振動シミュレーションシステム ～今後の戦略～



- 複合試験用チャンバーの内製化拡大



垂直水平切替式  
オールウェザーシミュレーター



3軸オールウェザーシミュレーター



垂直単軸オールウェザーシミュレーター  
(観音扉式チャンバー)

- 小型チャンバーの外販



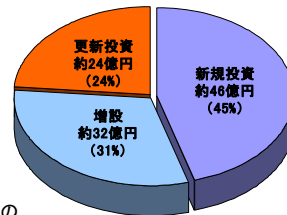
小型振動シミュレーターとの  
複合用チャンバー



マイグレーションテスト用チャンバー

- 新規・増設引き合いの早期受注活動

100億円を超える引き合いの中でも構成割合の高い、新規投資／増設案件の早期受注を目指します。



引き合い内容内訳  
(07年3月)

## メジャリングシステム ～中間期の概況～

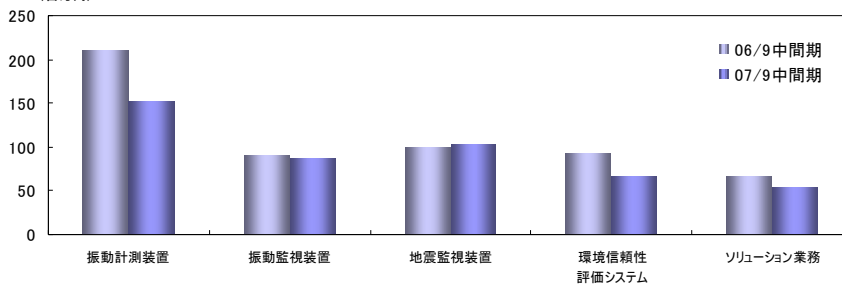


(単位:百万円)

	07/9 中間期	06/9 中間期	増減額	増減率
振動計測装置	152	209	△56	△27.1%
振動監視装置	87	91	△4	△4.5%
地震監視装置	103	100	+2	+3.0%
環境信頼性評価システム	66	92	△25	△28.2%
ソリューション業務	54	67	△13	△20.2%
その他・修理	73	53	+20	+37.2%
合計	536	614	△77	△12.6%

- 研究開発機能・生産機能を大阪に集約することで、開発体制の強化及び生産の効率化を図りましたが、移管に伴い一時的に技術支援レベルが低下したことにより、売上高は前年同期比77百万円減収の536百万円となりました。
- 前期に新製品を投入した地震監視装置は売上微増となり、売上が減少傾向にあった振動監視装置は回復の兆しを見せました。
- 小型複合試験機チャンバーを応用し、マイグレーションテスト用チャンバーを開発しました。
- ソリューション部門では、計測・解析に関する新製品の開発に注力して参りました。

(百万円)



Copyright © IMV CORPORATION 2007 All right reserved

14

## メジャリングシステム ～今後の戦略～



### ●非振動分野の研究開発強化

#### ① イオンマイグレーションテスター

- ・ハイサイド型マイグレーションテスター
- ・交流インピーダンス型マイグレーションテスター
- ・高電圧(1000V)対応マイグレーションテスター

#### ② ワイヤレス技術の応用

- ・フィールドで得た顧客ニーズをベースに、新たな用途の製品を開発しています。

### ●新型地震計の開発

- ・気象庁認定の計測震度計の開発により、官公庁の更新需要を取り込みます。

### ●新製品販売における技術支援強化

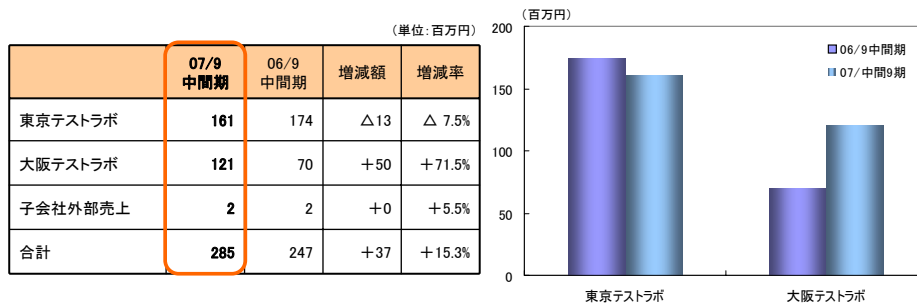
- ・イオンマイグレーションテスター等の新製品販売において、技術者による営業支援を強化します。

Copyright © IMV CORPORATION 2007 All right reserved

15



## テスト&ソリューションサービス ～中間期の概要～



- 大阪テストラボの成長により、前年同期比37百万円増収の285百万円となりました。
- 国内最大級の専用施設として名古屋テストラボの開設を決定し、9月の開設を目指して建設工事を進めています。
- 設備を強化した大阪テストラボでは、鉄道車両関連需要が好調に推移し、50百万円の増収となりました。
- 東京テストラボでは、名古屋地区自動車関連企業の受託試験を大阪テストラボに一部移管した影響により、売上が微減となりました。

## テスト&ソリューションサービス ～今後の戦略～



- 名古屋テストラボの垂直立上げ  
9月開設に向けて建設工事中。垂直立上げを実現し、08年9月期売上高220百万円を目指します。

### 【名古屋テストラボの特長】

- ・突発的な試験要求に対応(国内最大級、昼夜連続運転可能)
- ・万全のセキュリティ体制
- ・顧客ニーズにあった装置ラインナップ(多軸/複合シミュレーターの導入)
- ・オンデマンドリコメンデーション(顧客の潜在的ニーズに合わせた提案)



- 鉄道車両用試験装置を大阪テストラボに設備  
国際規格(IEC)の試験要求事項高度化に伴い、鉄道車両関連の振動試験が増加しています。これに対応した試験装置を大阪テストラボに設備予定。08年4月の稼動に向け準備を進めています。
- 大阪テストラボを中心とした新たなソリューション  
単に振動試験を受託することに留まらず、同一敷地内のR&D部門と共同で試験結果の計測・解析・改善提案を実施し、オンデマンド・リコメンデーションを推進してまいります。

## 研究開発の動向



### 環境・エネルギー問題の解決へ向けて

- ・輸送振動耐久評価試験装置(特許出願中)
- ・インテリジェント・システム・マネジメント技術

### 振動専門メーカーからの脱却

- ・次世代イオンマイグレーションテスター
- ・単体販売が可能なチャンバー(恒温恒湿槽)の開発

### 試験加速とオンデマンド・リコメンデーション

- ・多軸振動シミュレーションシステム
- ・オールウェザーシミュレーションシステム
- ・テラリング

## 海外戦略の動向



### 東南アジアへの拡販

- ・日系企業のR&D拠点移管増加に伴い強化

自動車・電機関連業界等の日系企業がR&D機能を東南アジアの現地拠点に移管するケースが増加しています。現地での試験ニーズへの高まりを受けて、営業人員を増員するなど販売を強化しています。

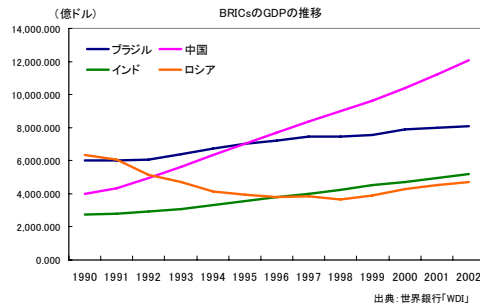
#### 【海外営業担当人員】

2006年3月末 3名 → 2007年3月末 5名

### BRICs/VISTA市場への先行PR

- ・経済発展に伴う試験需要の増加の対応

近年著しい経済発展を実現しているBRICsはもとより、今後の成長が期待されるVISTA地域に対しても販売を促進してまいります。



## 通期業績見通し(連結概要)



(単位:百万円)

	07/9中間期実績	07/9通期予想	達成率	(参考) 06/9期実績
売上高	2,725	5,850	46.6%	4,953
営業利益	246	605	40.8%	549
経常利益	319	711	45.0%	609
中間(当期)純利益	199	463	43.0%	329
設備投資	391	1,099	35.6%	204
減価償却費	128	267	48.0%	278
研究開発費	82	124	66.2%	96
従業員数※	199	213	—	191
1株当たり中間(当期)純利益	11.82円	27.34円	43.2%	19.47円
1株当たり配当金	—	5.0円	—	4.0円

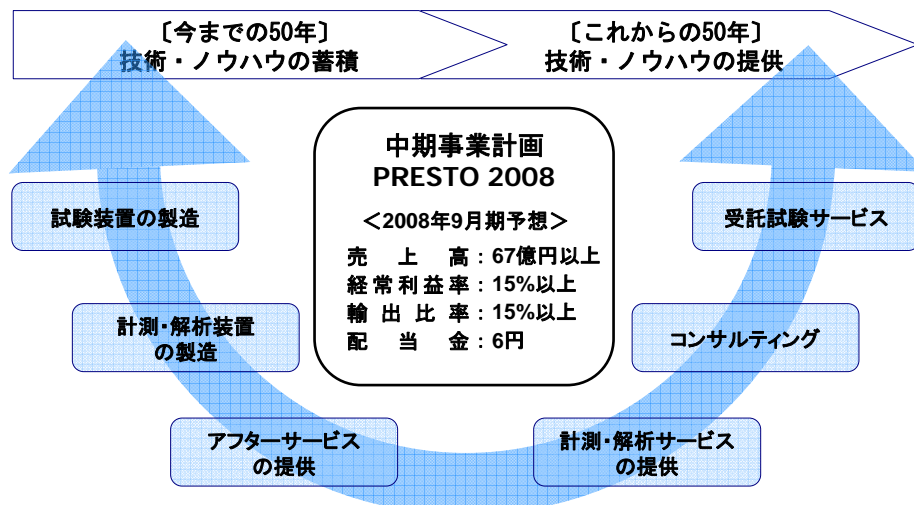
※従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

- 売上について、中間期は計画を下回る結果となりましたが、具体的な引き合いは増加傾向にあることから5,850百万円の期首予想から変更していません。
- 売上未達による利益の減少がありましたが、中間期実績及び下半期予想において、計画外の考慮すべき収益増減事項はないため、利益予想については変更していません。
- 名古屋テストラボ向け設備投資として、中間期には土地購入費用と工事費の一部を計上。9月開設に向け5億円の追加投資が発生する予定です。
- 下半期の研究開発活動は、次世代制御器、電力増幅器など継続案件のフォロー及び地震計やマイグレーションテスターの新製品開発を予定しています。
- 人員計画について、下半期は新入社員10名、その他4名の増加予定です。
- 利益予想に修正がないため、通常配当4円に50周年記念特別配当1円を加え、1株当たり配当金は5円の見通しから変更ありません。

## 中期事業計画 ~100億円企業への飛躍~



サービス事業を成長ドライブに  
IMVはソリューションプロバイダーへと成長します



# ありがとうございました

代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫

常務執行役員 岡本 二郎

## お問合せ先

IR窓口 経営企画室・IR担当 大和 充

TEL: 06-6478-2565 FAX: 06-6478-2567

E-MAIL: imvir@imv.co.jp <http://www.imv.co.jp>

## ○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。